

フラギング

ヒューマンパフォーマンスツール⑧

何のため?

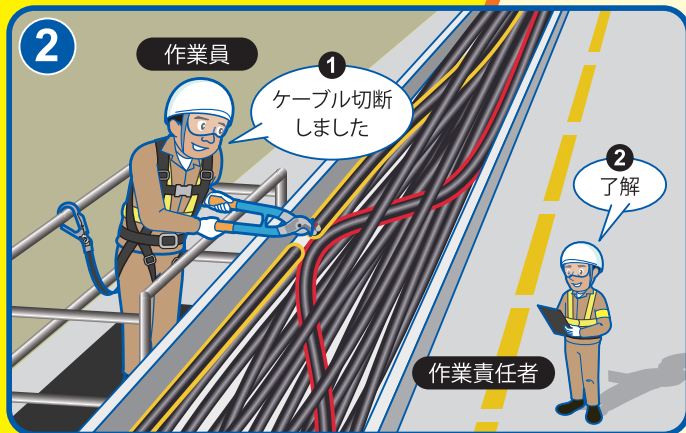
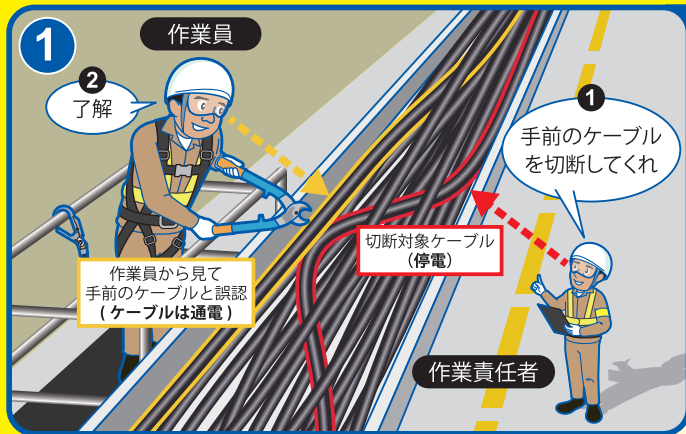
- よく似た機器の中から対象を明確にすることでエラーの発生防止を図るため
- 作業途中に注意がそれた場合でも作業再開時に再び正しい機器に注意を向ける助けとすることで、対象機器の誤認を防止するため

いつ使う?

- 外観のよく似た機器が近接する場合
- 対象機器から目を離すような場面が予想される場合
- 作業中に注意がそれやすい状況がある場合
- リスクの高い機器の近くで作業する場合

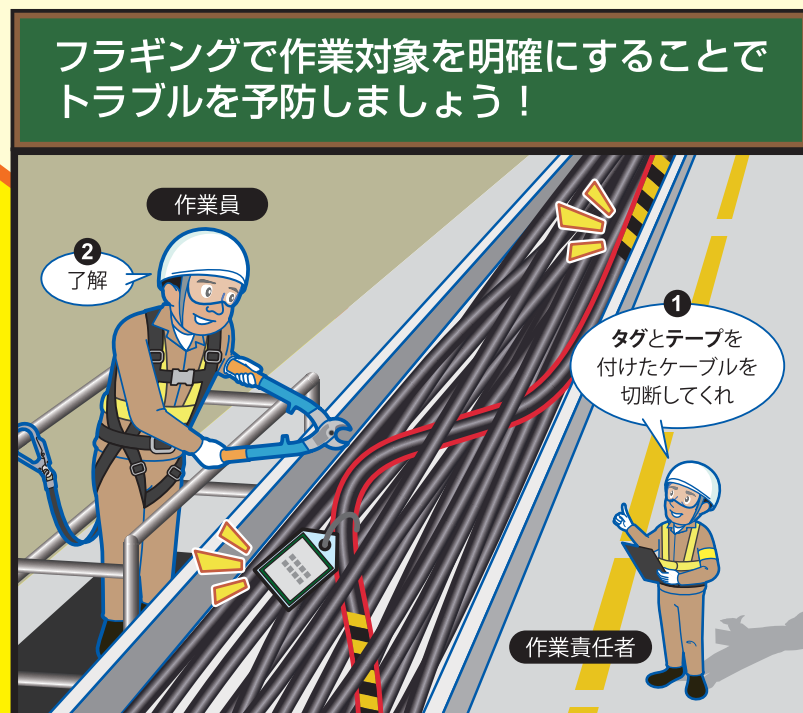
どう使う?

- セルフチェックやピアチェックを併用し、フラグ立てする機器を特定した後、誤認防止のためフラギング器具(シール、リボン、タグ、電気テープ等)で作業対象を明確にする
- フラギング器具は、計器等の表示器や運転機器等の、設備に悪影響を与えないものや設置箇所等、工夫して使用する



フラギングは色や大きさなどを工夫して、ひと目でわかるものにするのが重要。
作業後の取り外しも忘れずに!

Dr.ジャン・シー



ヒューマンパフォーマンスツールは、起こりうるエラーを予測し、感知することで、エラーや事故を防止しやすくするためのものです。このポスターは、事例を参考に安全啓発資料として編集・作成しました。



世界最高水準の安全性の追求～たゆまぬExcellenceをめざして～
一般社団法人 原子力安全推進協会
Japan Nuclear Safety Institute

ヒューマンファクター検討会